



令和6年度 オンライン公開講座（高校生対象）


高校生と考える「子ども虐待」

コロナ禍により子ども虐待問題が増え、かつ深刻になっています。この講座は子ども虐待が発生する家庭が抱えがちな環境特性とその対応について、ソーシャルワークの視点から学び議論したいと思います。未来の子育てを担いその支援に関心を持つ高校生に限定して開講します。

日時	令和6年10月2日(水) 18時00分～20時00分
講師	県立広島大学 保健福祉学部保健福祉学科 人間福祉学コース 教授 田中 聡子 教授 松宮 透高
会場	オンライン（リアルタイム配信講座）
対象	高校生
定員	20名
受講料	無料
申込締切	令和6年9月18日(水)
問合せ先	県立広島大学三原地域連携センター 公開講座係 〒723-0053 三原市学園町1-1 電話：0848-60-1120（平日9時00分～17時00分） FAX：0848-60-1134 メール：mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp

※講座の詳しい内容と申込方法は、2ページをご覧ください。

令和 6 年度オンライン公開講座『高校生と考える「子ども虐待」』

内容	1	子ども虐待の実態とその発生要因をつかもう！	田中 聡子
	<p>どのような生活環境が子ども虐待につながるのか、どのような発生メカニズムがあるのかについて、基本的な事項を整理します。子ども、保護者、生活や地域の環境の3領域の課題が複合すると発生リスクも高まります。そこで、今日の家族やそれを取り巻く社会環境へのはたらきかけという視点から、虐待発生リスク軽減の方法を検討します。</p>		
	2	ソーシャルワークは子ども虐待予防にどう役立つ？	松宮 透高
<p>さまざまな暮らしの苦勞に対して、個々の世帯や人を具体的に応援しつつその背景にある地域や社会の改善も図り環境も変えていく。ソーシャルワークにはそんな機能があります。社会福祉制度を活用しソーシャルワーク機能を活かせば、子ども虐待対策やその予防にどのような可能性が開けるのでしょうか。未来の子育てとその支援を考えましょう。</p>			
受講条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ Zoom (https://zoom.us/) を使用したオンライン講座で行います。 ・ Zoom が使用できる受講用機材（パソコン、タブレット、スマートフォン等）やインターネット環境が必要です。 ※種類や性能に指定はありませんが、テレビ会議ができるものを推奨します。 ・ 受講用機材、インターネット環境、通信料等は受講者の負担となります。 ・ 法令や公序良俗の違反、講座の妨害、講師を含む参加者を不快にさせる言動等があった場合、講師の判断でオンライン接続を中止することがあります。 ・ 配信される講座内容や資料等について、いかなる手段による撮影、録画、録音、保存、複製、再配布、再配信を禁止とします。 <p>※チラシ内にある受講条件を必ず確認して下さい。 ※お申し込みがあった方は受講条件をご承諾いただいたものといたします。</p>		
申込方法	<p>下記の県立広島大学ホームページ上 URL「申込フォーム」または QR コードからお申込みください。</p> <p>https://www.pu-hiroshima.ac.jp/ques/questionnaire.php?openid=930</p>  <p>※申込の方へ受講案内をメールで通知します。メールフィルターの設定をされている場合は、@pu-hiroshima.ac.jp ドメインからのメールを受け取れるよう設定をお願いします。</p>		

県立広島大学 三原地域連携センター